

# 自己評価報告書

(令和元年度)

令和2年1月

学校法人 さくら学園

慈恵福祉保育専門学校

## I 現 況

- 1 学 校 名 慈恵福祉保育専門学校
- 2 所 在 地 〒444-0931 岡崎市大和町字中切 1 - 9
- 3 電話番号 TEL 0564-32-8811 FAX 0564-32- <http://sakura-g.ac.jp/>
- 4 沿 革

1994(平成6)年 開校「慈恵福祉専門学校」介護福祉科  
2004(平成16)年 福祉保育学科(3年コース)を新設  
2006(平成18)年 保育学科を新設  
1962(昭和37)年 福祉保育学科(2年コース)を新設  
1976(昭和51)年 名称変更「慈恵福祉保育専門学校」  
2017(平成29)年 児童教育専攻科を設置  
2017(平成29)年 福祉保育学科募集停止  
2007(平成29)年 留学生受け入れ開始

## 5 学科と生徒数

	1年	2年	3年	合計
介護福祉科	34	13	—	47
保育学科	25	21	—	46
福祉保育学科	—	—	4	4
専攻科	0	—	—	0
合 計	37	46	7	90

## 6 教職員数

校長 岩瀬せつ子

学監 久米 明美

教員 10名

講師 30名

事務職員 3名

合計 44名

## 7 施設概要

学科教室	6	入浴実習室	1	リズム室	1
合同教室	1	介護実習室	1	個人レッスン室	3
多目的ホール	1	演習室	1	パソコン室	1
エントランス ホール	1	自習室	2	保健室	1
家政学実習室	1	ピアノ室	1	相談室	1

## II 評価基本方針

### 1 評価の目的

- ・心豊かで自立心に富み、社会貢献できる人材を育成する。
- ・徹底した実技指導をして技術を習得させ、質の高い職業教育ができる学校運営を改善するために行う。

### 2 評価の基準

- ・制定した教育目標や計画に照らし、下の4段階で評価する。  
適切・・・4、 ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、 不適切・・・1
- ・学内アンケートを行う。

### 3 評価の公表

学校評価の結果は、「学校ホームページ」にて公開する。

### 4 評価結果の活用

- ・評価委員会において、課題の洗い出しを行い次年度に向け目標を設定する。
- ・全教員共通認識のもと、役職・教務・学生指導・校務の分業単位で改善に取り組む。

## 1 学校の教育目標

本校は、「心豊かで自律心に富み、社会に貢献できる人材を育成する」という教育方針に基づいて教育を行っている。具体的な教育目標として次の2項目を掲げている。

- (1) 人として生きてゆくための人格形成の場として、「介護・保育現場では答えは一つではない。」ことを自覚し、おかれている状況を分析し、考え柔軟に対応できるようになるための教育支援をする。
- (2) 本校の4つの専門学科(介護福祉学科・保育学科・福祉保育学科・児童専攻科)における専門的な技術が、生涯を生きる支えや心の糧となるように、それぞれの学科・学生の実態に応じた学習支援をする。

## 2 本年度の重点目標

25年の歴史と伝統を守りながら、時代の流れや社会のニーズに対応した改革心を持ち、社会に貢献できる人材の育成に努める。特に、校訓「自己覚知」に込められた自身をしっかりと知り、改善すべきところは改善し、常に相手を思いやり相手の立場に立ち慈しみの心を根底において教育支援をする。

## IV 評価項目の達成及び取組状況

### <教育理念・目的>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育その他の教育指導等の特色が押さえられているか	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・非常勤講師等に周知されているか	4	3	2	1

・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---

①課題

- ・前項 1、2 に基づき、教職員全員が共通理解の下に実践する。

②今後の改善方策

- ・本校が目指す教育方針の理解を求める知らせを、学生及び保護者の意識や価値観を想像しながらできるだけ丁寧に周知していく。

③特記事項

<学校運営>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
・ 学生の健康管理を行う組織体制を整備し運営しているか	4	3	2	1

①課題

- ・ 職員室の I T 関連機器が校内 LAN を含めて、システム化が十分になされていない。

②今後の改善方策

- ・ 校内 LAN を早急に整備することにとりかかる。

③特記事項

- ・ 情報の共有化と守秘義務の遵守体制を構築する。

## <教育活動>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・人材育成像に沿った教育課程の編成・実施方針の周知を図っているか（学生・教職員・HPによる外部への周知等）	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体、卒業生等の意見を聞く機会を設け、教育課程を編成しているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等と連携して実践的な職業教育が実践されているか（実習事前・事後の打ち合わせを行う）	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・講義、演習などにおけるアクティブラーニングを展開しているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等と連携をして実習、実技、演習を行っているか（巡回指導教員と実習指導者が連携を図り各段階における「達成目標・課題」について確認している）	4	3	2	1
・職業教育において人材育成像が示す能力が身につくような取り組みを行っているか（カリキュラムに沿った授業・シラバスに沿った授業を実施しているかの調査を行っている）	4	3	2	1
・倫理的行動（身体拘束禁止・虐待防止・ネグレスト）について考える機会を導入しているか	4	3	2	1
・障害者・障害児に関する基本的な知識・技術を習得できるプログラムを導入しているか	4	3	2	1
・自立支援や予防を目的に潜在能力を引き出す技術が身につくプログラムを導入している	4	3	2	1
・専門分野における資格、要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・教員の資質向上への取り組み、施設、保育園などと連携した研修会を行っているか	4	3	2	1

・教員の資質向上への取組として授業評価を行っている	4	3	2	1
・必要な組織体制を整備しているか	4	3	2	1
・成績会議、単位認定、進級・卒業判定の基準を明確に定めており、適正に運用しているか	4	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制を整備し、適切に運営しているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制を整備し、適切に運営しているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・すべての科目においてアクティブラーニングを導入できていないため、なるべく多くの科目に取り入れる努力をする。
- ・到達目標に対しての評価が実施できていない科目があるため、すべての科目において点検・評価する。
- ・施設、保育園などとは個別に資質の向上に努めているが、限られた施設、園である。
- ・授業評価の実施。
- ・職員の能力開発のための研修機会・研修時間の確保。

### ②今後の改善方策

- ・教職員がアクティブラーニング導入の必要性を周知する（討論ができるために、留学生の日本語能力をアップする）。
- ・講義録に目標達成記入欄を設け、評価できるようにする。
- ・多くの施設、園と研修が行えるよう年間計画を作成し取り組む。
- ・授業評価をすべての科目において毎回小テストにて確認できるよう取り組む。
- ・講義録内に授業評価を加え、分析していく。
- ・教職員自らの専門分野等の知識・技術向上を図る。

### ③特記事項

- ・介護福祉学科においては、留学生が入学しており質の向上を図るためにグループ分けをし、授業外でレベルに応じた日本語学習を取り入れている。
- ・各学科の特色を持ったカリキュラムを組んでいる。
- ・保育士・介護福祉士以外にも多くの資格が取得できるよう取り組んでいる。
- ・実習において実習指導者と巡回指導教員との連携を密にし、指導にあたっている。

## <学生指導等>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	2	1
・ 学生、留学生に対する相談体制を整備し、適切に運営しているか	4	3	2	1
・ 学生・保護者からの相談体制が整備されているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・ 留学生のアルバイト管理の徹底を図る。
- ・ 留学生の健康管理を強化する必要がある。
- ・ 学生による保護者への伝達不足により、周知できていない出来事があったことから、保護者との連携をより強化する必要がある。

### ②今後の改善方策

- ・ 留学生のアルバイト計画表だけでなく実施状況を記載するようにする。
- ・ 留学生との個別面談及び必要であれば自室を訪問し生活・健康状況を確認し指導をする。
- ・ 家庭との連絡を一層密に行い、必要であれば家庭訪問を行う。

### ③特記事項

- ・ 学生からの要望・不満等、前期・後期でアンケートを実施し対応している。
- ・ 保護者との連絡も密にしており、家庭と学校とが情報を共有し相談活動を充実させることで、学生の健全な育成に努めている。
- ・ 留学生に対し、適切な対応ができるよう担当者を付け役割分担している。

## <学習成果>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 学生が身に付けた学修成果は、目標とする水準にあるか	4	3	2	1
・ 目標達成が十分でない場合、教育活動などの改善を図っているか	4	3	2	1



・ 就職支援・相談体制を確立し、就職率向上に十分取り組んでいるか	4	3	2	1
・ 就職率は目標とする水準にあるか	4	3	2	1
・ 離職率や職場定着率を改善する取組をしているか	4	3	2	1
・ 国家試験受験対策の体制を確立し、合格率向上への取組を行っているか（介護福祉学科）	4	3	2	1
・ 国家試験の合格率は目標とする水準にあるか（介護福祉学科）	4	3	2	1
・ 退学率低減への取組を実施し、目標とする水準にあるか	4	3	2	1

### ①課題

- ・ 学習面において目標水準に達成していない学生が少数存在するため、改善する。
- ・ 介護・保育に関しては多くの求人があり、引く手あまたの状況であることより、学生に適した施設・園への就職へと結びつけることが必要である。
- ・ 国家試験合格率に関して、留学生においては、文章の読解が難しく、なかなか目標水準には到達していない。
- ・ 学生の家庭、人間関係事情等悩み事を早期に把握し、退学者を防ぐ。

### ②今後の改善方策

- ・ 個別対応として、分かりやすく砕いて説明し、理解できるように対応する。
- ・ 卒業生の動向を施設・園等訪問の際、しっかりと把握する。退職している場合は、本人の希望により、関わりを継続しフォローアップする体制を整える。
- ・ 日本語の応力を高めるとともに、模擬問題に多く取組む計画を立案する。
- ・ 退学者理由は、学習意欲の欠如、経済的な理由、家庭の事情、不登校など多様である。学生を多面的に理解し、些細な変化も見逃さず、家庭との連絡を一層密にしながら担任と学校全体とで組織的対応をしていく。

### ③特記事項

- ・ 就職指導は、卒業生による講話、模擬面接等採用試験対策を実施している。また、就職希望施設・園へはボランティアに行き、自ら見学・体験することで各学生に適合した施設・園を決定するよう導いている。そうすることで、納得し就職しているため、離職率が低い。
- ・ 進路結果は、年度ごとにまとめ、全職員が周知している。

## <学生支援>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1
・ 卒業生への支援体制を整備し、適切に運営しているか	4	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・ 学生の家庭状況・経済状況により就学が困難になった場合、可能な限りの支援策について教員全員が情報共有する。
- ・ 同総会は開催されており、教職員も参加しているが、同窓生の参加が少ない。
- ・ 留学生の生活環境の把握。

### ②今後の改善方策

- ・ 職員会議にて担任から早期に情報提供をし、職員全員で共有し対策に取り組む。
- ・ 卒業生が興味を持てる卒後教育などを取り入れ、多くの同窓生が出席できる会とする。
- ・ 留学生に承諾を得て、定期的に自宅訪問をし、生活環境を把握する。

## <教育環境>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を図書室に配架し、学生に必要な応じ閲覧できるような環境を提供しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・ 各自がスマートフォンにて語彙の検索等をしており、図書室が十分活用されていないのが現状である。

- ・法人内において、幼稚園 保育園 デーサービス グループホーム等の実習先があるが、さらに踏み込んだ実習内容の整備をする。
- ・避難訓練の内容、回数をマンネリ化させない。
- ・大規模災害への対策を検討する。

②今後の改善方策

- ・魅力ある図書室となるよう、多くの文献、雑誌等を整備する。
- ・消防署と連携した災害訓練を計画し実行する。

<入学者の募集、入学選考>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 入学者受け入れ方針を明確にしているか	4	3	2	1
・ 入学者募集活動入学者受け入れ方針に従って適正かつ効果的に行っているか	4	3	2	1
・ 入学選考方法を明確に定め、適正に運用しているか	4	3	2	1
・ 入学手続きは適正に行っている	4	3	2	1

① 課題

- ・ 学生数減少傾向への対応策を早急に検討する。

②今後の改善方策

- ・ 本校独自の魅力をPRする。

② 特記事項

- ・ 姉妹グループとの連携を図り、魅力的な教育内容の整備に尽力する。

< 財 務 >

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・介護福祉学科においては留学生を今後も受け入れていくが、多国籍となるため文化の違いなどにも十分配慮する必要がある。

### ②今後の改善方策

- ・備品、消耗品の排除するよう努める。

### ③特記事項

- ・公認会計士による会計監査、規程に基づいた内部監査を行い、適正に実施されている。
- ・財務情報の報告はホームページで公開している。

## <コンプライアンス等>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・学校評価の実施と結果の公開はしているか	4	3	2	1
・学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、結果を公開しているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・学生間の SNS の利用により、学校が把握しきれないところで、個人情報(顔写真等)がネット上に流れてしまう事例等を防止する。
- ・学校評価に基づく改善の取組みと教育情報公開においては、現在進行中。

### ②今後の改善方策

- ・行事の写真閲覧等に関しては、必ず本人の同意を得、拒否する場合には削除し確認後に閲覧へと導く。
- ・SNS 利用等、情報リテラシーの向上及び情報モラルについて、職員間内で確認し、担任より学生へ問題事例等上げ周知できるようにする。
- ・学校評価の結果と対策・対応について教職員で情報共有し、自己評価によって明らかとなった改善を必要とする事項に、できることから取り組む。また、学校評価委員会の実施・公表に関しては令和2年4月を予定。

## <社会貢献・地域貢献>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・ 教育資源を活かした地域貢献の推進をする。

### ②今後の改善方策

- ・ 本校教育資源に対する地域社会の要望を集約する機会を生み出していく。

### ③ 特記事項

- ・ 地域が企画運営する行事等に、学生ボランティアが積極的に関わり貢献している。
- ・ 月に1～2回地域ボランティア（空き缶、ごみ拾い等）を実施、また街頭監視に参加し、地域貢献のための方途を模索し続ける姿勢を大切にしている。

## V 総合的な評価結果

各取り組み状況については「適切」「ほぼ適切」と評価できる。

さくら学園の教育活動の根幹である校訓「誠心」を全職員・全学生で大切にし、一人一人の学生に寄り添った、きめ細かく丁寧な指導により、心豊かで自律心に富み、社会に貢献できる人材に成長し卒業している。関係施設・園からも「即戦力となり、必要な存在」と称賛されている。今後も一人一人としっかり向き合い、学生に合ったきめ細かな教育に取り組んでいく。

全教職員で、全ての学生（留学生を含む）に誠実に対応し、学生自身が自ら考え行動できるよう教育環境を整え、評価結果を真摯に受け止め、時代のニーズに応える職業教育を継続していく。

学校法人 さくら学園  
慈恵福祉保育専門学校